

第 13 回「日本薬剤学会 製剤技師認定試験」実施のご案内

試験実施日：2022 年 10 月 15 日（土曜日）

本学会では、製剤に携わる方が、業務上必要とされる基礎知識および専門知識を修得し、近い将来、職場におけるリーダーとして活躍できる素養を認証するために「製剤技師」認定制度を立ち上げました。これまでに 12 回の認定試験を行い、すでに 280 名以上の「製剤技師」が誕生しています。以上の本制度の主旨と以下の概要をご理解のうえ、ぜひ奮って受験されますよう、お勧めいたします

また、準備を早期に開始して頂くことを期待して、6 月末までに申し込みの方には、受験料を 1 万円減額致します。本試験に合格し所定の申請手続きをされた方には、認定製剤技師の称号と認定証が授与されます。また認定者のうち学会非会員の方には 1 年間、年会費無料で会員と同じように年会・講習会への参加及び学会誌送付などの特典が得られます。

製剤技師認定委員長 岡本 浩一

受験資格：製剤関連業務に 5 年以上従事した方

医薬品・食品・化粧品などの企業、並びに病院、大学、その他の研究機関において、製剤関連業務に実際に 5 年以上（学生・大学院生の期間は含まない）従事した方、またはこれに相当する実務実績を有する方（所属長の証明書が必要）が受験可能です。（ホームページの「製剤技師認定制度について」をご覧ください。）

<https://www.apstj.jp/pharm-engineer/about/>

試験の形式と問題の構成／時間配分

	出題分野		問題数		出題分野		問題数	
	物理薬理学	生物薬理学			必須	選択		
基礎編	物理薬理学		8	応用編	経口投与製剤	4	10	} 18 問 を選択
	生物薬理学		8		注射・眼投与製剤	4	10	
	製剤学		8		その他の製剤	4	10	
	レギュレーション		6		(製剤に必要な専門的知識)			
		(製剤の基盤となる知識)						
問題数			30 問	問題数			30 問	
試験時間：75 分				試験時間：90 分				

*なお、配点は一問につき、基礎編は 2 点、応用編は 3 点で、実務実績を重視しています。

第 1～12 回の全問題と正解及び第 13 回目試験の出題項目、参考図書などはホームページの「製剤技師認定制度について」をご覧ください。

<https://www.apstj.jp/pharm-engineer/about/>

受験申込期間 = 早期受付の場合、受験料が「1 万円減額」になります。

早期受付*：2022 年 5 月 1 日（日）～ 6 月 30 日（木）

後期受付：2022 年 7 月 1 日（金）～ 10 月 3 日（月）

試験日・試験会場

試験日：2022 年 10 月 15 日（土）13:00～16:20

試験会場：東京会場・味覚糖 UHA 館 TKP 浜松町カンファレンスセンター

大阪会場・TKP 新大阪駅前カンファレンスセンター

受験料

会員：3 万円、非会員：4 万円。合格時の認定料は、会員・非会員とも 2 万円。

* 早期受付の場合「会員：2 万円、非会員：3 万円」となります。なお、申込後の受験料の返却は原則として行いません